

2025年7月から2026年3月までに入院された方へ

当センターでは下記の臨床研究を実施しています。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

●研究の名称

当センターにおける服薬簡素化の実態調査

●研究の対象

2025年7月1日から2026年3月31日に当院に入院した患者

●研究の期間

研究倫理審査委員会承認日 から 2028年3月31日まで

●研究の目的

高齢者増加に伴い、多病を抱え要介護状態となる高齢者が増えています。医療や介護を受けながら生活していく上で服薬管理に問題を抱えることがしばしばあります。薬の管理者にとって服薬回数が複雑なことは飲み忘れ、飲み間違いにつながります。服薬管理を簡素化するために薬剤師による処方提案が行われています。

今回、当センターでの薬剤師による服薬簡素化提案の内容を調査し、変更された薬剤の内容、提案が受け入れられなかった場合の理由、さらに提案した薬剤の再開の有無と再開理由を検討します。これらを調査することで、現状と課題を明らかにし、服薬管理者（医療者・家族・施設職員）の負担軽減および患者アドヒアランス（患者が自分の病気や治療方針の内容について理解した上で治療継続すること）の向上につながる薬剤師の介入のあり方を示すことが期待されます。

●研究の方法

当センターにおいて2025年7月1日から2026年3月31日に入院した患者のうち、薬剤師の処方提案により服薬回数が減少した症例を抽出し、患者背景、調整内容、提案の受容・非受容理由を解析します。

●研究に使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、BMI、入院日数、入院契機（予定入院 or 緊急入院）、診療科、介護度、入院前の住居状況（自宅 or 施設、独居か否か）、退院転帰（自宅・施設 or 転院）、DASC-21 (Dementia Assessment Sheet in Community-

研究－参考書式 1

based Integrated Care System-21 items：地域包括システムにおける認知症アセスメントシート)、基本的ADL (Activities of Daily Living：日常生活を送る上で不可欠な最低限の身体動作)、手段的ADL (Instrumental Activities of Daily Living：日常生活を送る上でより複雑で判断力や計画性、応用力が必要とされる生活能力)、医療保険負担割合、嗜好品、服用薬剤の内容(ATCコード：世界保健機構(WHO)が提唱する医薬品の国際的分類システム、薬効分類：薬がもつ薬効に基づいて分類、YJコード：医薬情報研究所が設定している個別医薬品識別コード)、服用薬剤数、服薬回数、ハイリスク薬の有無、PIMs (Potentially Inappropriate Medications：潜在的に不適切な薬剤)の有無、抗コリンリスクスコア、自己管理の有無(本人、家族、介護者)、一包化の有無

●研究組織

研究責任者：	東京都健康長寿医療センター	薬剤科	田中 三鈴
分担研究者：	東京都健康長寿医療センター	薬剤科	島崎 良知
	東京都健康長寿医療センター	薬剤科	小原 朋也
	東京都健康長寿医療センター	薬剤科	前田 陽平
	東京都健康長寿医療センター	薬剤科	川中 麻美子
	東京都健康長寿医療センター	薬剤科	加藤 慎也

●資料の入手または閲覧、開示

この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じてあなた自身の資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

●お問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター 薬剤科

連絡先：田中 三鈴

電話 03-3964-1141 (平日 9:00~17:00)